国立大学法人
福島大学
Fukushima University

プレス発表資料３

令和４年 12 月７日

# 「地方」と性的マイノリティをテーマとする日本初の研究書の刊行について

福島大学教育推進機構の准教授・前川直哉が、和光大学教授の杉浦郁子（すぎうら いくこ）氏と共著『「地方」と性的マイノリティ－東北６県のインタビューから』（青弓社）を刊行しました。東北地方の性的マイノリティ団体に関わる 23 名(19 団体)へのインタビューをもとにした調査であり、「地方」と性的マイノリティをテーマとする日本で初めての研究書です。

昨年２月に刊行した『東北地方の性的マイノリティ団体活動調査報告書』をもとに分析。これまでセクシュアリティ研究で見過ごされてきた「地方」の実態を、当事者・団体スタッフたちの豊富な語りから考察し、性的マイノリティをめぐる政治と地域性について新たな見取り図を提示する書籍です。

★本書で取り上げた主なテーマ
①東北の性的マイノリティ団体の概要と歴史
→東北には東日本大震災以前から活動の厚い蓄積があり、団体間の協働なども盛ん。近年は各地域に根差した多様な団体の活動の展開がみられる。
②「地元」で活動することへの葛藤や、柔軟かつ多様な活動手法
→課題は「東北の地域性」よりも「地元」で活動することの難しさ。東北の団体はメディア露出の管理や様々な活動手法を柔軟に用いて活動を展開。
③「LGBT」内部の差異、ジェンダー不平等の問題
④東日本大震災が東北の活動に与えた影響　など

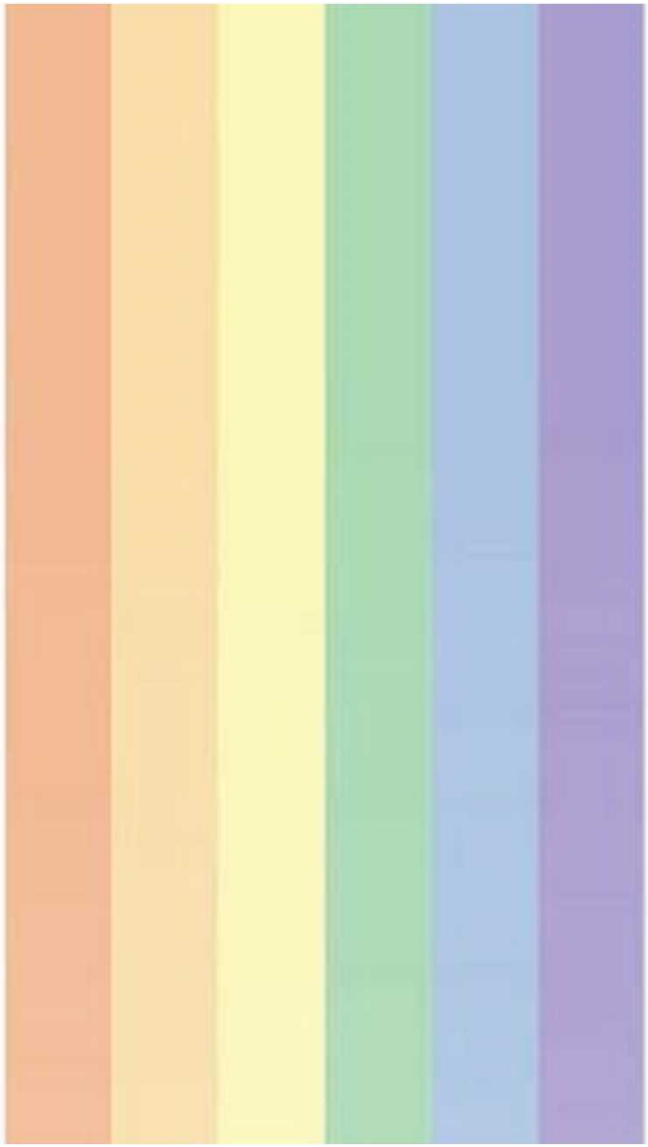
『「地方」と性的マイノリティ
：東北６県のインタビューから』
杉浦 郁子 / 前川 直哉（著）
青弓社、四六判 272 ページ
定価　2000 円＋税　ISBN978-4-7872-3515-2
書店発売日　2022 年 11 月 28 日

（お問い合わせ先）
教育推進機構・准教授　前川 直哉
電　話：090-1913-2213
メール：r873@ipc.fukushima-u.ac.jp

※カバー写真は今年 10 月の「ふくしまレインボーマーチ」

国立大学法人
福島大学
Fukushima University

# 『「地方」と性的マイノリティ：東北6県のインタビューから』刊行について



2022年12月7日

教育推進機構 准教授
前川 直哉

# 本書の概要

国立大学法人
福島大学
Fukushima University

・和光大学・杉浦郁子教授との共著。
・東北6県の性的マイノリティ団体（19団体）に関わる
**23名の方へのインタビュー**
をもとに分析・考察。
・「地方」と性的マイノリティに関する、
**日本初の研究書**。

# 本書から

国立大学法人
福島大学
Fukushima University

## ①東北の性的マイノリティ団体の概要と歴史

→東北には東日本大震災以前から
**活動の厚い蓄積**があり、
団体間の協働なども盛ん。
近年は**各地域に根差した**
多様な団体の活動の展開がみられる。

**2022年は
東北6県すべてで
パレード開催**

# 本書から

国立大学法人 福島大学 Fukushima University

**②「地元」で活動することへの葛藤や、柔軟かつ多様な活動手法**

→課題は「東北の地域性」よりも

**「地元」で活動することの難しさ。**

東北の団体は、メディア露出の管理や**様々な活動手法**を柔軟に用いて活動を展開。

**カミングアウトにとらわれない活動や、アライ（理解者）との協働など**

# 本書から

国立大学法人 福島大学 Fukushima University

## ★活動の障壁は「地方」ではなく「地元」

→「東京の活発なLGBT運動」は
**地元から離れた地方出身者**に
よって担われている部分も大きい。

中央を名乗り、自立しているかにみえる東京が、実際には学生や労働力の供給源としての地方に大きく依存している状況は、現在も続いているのだ。そして同じ構図が性的マイノリティをめぐる活動にも存在しており、**地元から切り離された地方出身者が、東京など大都市部の活動で大きな役割を果たしてきた**というのが、筆者の見立てである。
（本書第2章「「地元」と活動」pp.82-83より）

# 本書から

国立大学法人
福島大学
Fukushima University

**③「LGBT」内部の差異、**
**　ジェンダー不平等の問題**
→根強く残る**女性差別の問題**と
　リンクした活動の展開。

**④東日本大震災が**
**　東北の活動に与えた影響**
→**団体数の増加**、連携・協働の強化。

# 詳しくは……

国立大学法人
福島大学
Fukushima University

この他にも、多くのことを
本書で明らかにすることができました。

詳しくはぜひ、
前川までお気軽に
お問合せ下さい！

**カバー写真は今年10月の
「ふくしまレインボーマーチ」
（福島市）です！**

# 『「地方」と性的マイノリティー東北６県のインタビューから』目次


まえがき　前川直哉

序　章　本書の構成と「東北調査」
前川直哉／杉浦郁子
1　本書の目的と構成
2　東北調査について

**第１部　東北の性的マイノリティ団体**

第１章　概要と歴史　前川直哉
1　東北の性的マイノリティ団体の概要
2　東北の性的マイノリティ団体の歩み

第２章　「地元」と活動　前川直哉
1　「地元」で活動するということ
2　イベントとクローゼット
3　地域で情報をどう発信するか
4　「東北は保守的」は本当か

第３章　「ＬＧＢＴ」内部の差異とジェンダー
前川直哉
1　活動とゲイ男性
2　ジェンダー不平等という課題
3　「必要に駆られて」活動するトランスジェンダー

コラム１　インターネットと紙メディア
前川直哉

第４章　東日本大震災とその影響　前川直哉
1　東日本大震災と性的マイノリティ
2　震災後の交流、団体間の協働
3　東北の経験から学ぶために

**第２部　「地方」と活動手法**

第５章　「露出」の期待に対処する――「地方」の視点から可視性の政治を問いなおす　杉浦郁子
1　可視性の政治に埋め込まれたメトロノーマティヴィティ
2　「露出」を管理する実践
3　「露出」を前提にしない実践
4　「カミングアウト／クローゼット」の二項対立を攪乱する

第６章　「奇妙な他人」を「身近な隣人」へ変える――意識啓発活動のイメージ管理　杉浦郁子
1　「地方」の承認の政治が置かれている文脈
2　「身近な人になる」実践
3　「身近な地域住民」としてのイメージ管理で得られるもの

第７章　街の通りに出ていく――地域における「アウト」な活動　杉浦郁子
1　パレードの政治的意義をめぐる議論
2　活動の拠点を移す――青森へ
3　コミュニティカフェ&バーそらにじをオープン
4　青森レインボーパレードを開催

第８章　地域の「アライ」と協働する――性的マイノリティとダイバーシティ　杉浦郁子
1　「ダイバーシティ推進」の収益化
2　ダイバーシティふくしまの活動
3　ダイバーシティこおりやまの活動

コラム２　ろうＬＧＢＴ東北（DEAF LGBT TOHOKU）――「聞こえるＬＧＢＴ」が「聞こえないＬＧＢＴ」のバリアに出合う　杉浦郁子

あとがき　杉浦郁子

# 青弓社書籍案内

## 「進んでいる東京／遅れている地方」は本当なのだろうか？

「同性婚」にまつわる訴訟、パートナーシップ認定制度、
プライドパレード、そして震災がさまざまな活動に与えた影響……。
セクシュアリティ研究で見過ごされてきた「地方」の実態を
当事者・団体スタッフたちの豊富な語りから考察する。


**杉浦郁子**
和光大学現代人間学部教授。共著に『クィア・スタディーズをひらく1』（晃洋書房）
『排除と差別の社会学［新版］』（有斐閣）、『現場から創る社会学理論』（ミネルヴァ書房）など

**前川直哉**
福島大学教育推進機構准教授。著書に『〈男性同性愛者〉の社会史』（作品社）、
『男の絆』（筑摩書房）、共著に『「テレビは見ない」というけれど』（青弓社）など

# 「地方」と性的マイノリティ

## 東北6県のインタビューから

■購入冊数をご記入のうえ当社にファクスで直接ご注文ください。
■ご注文はメールまたは直販サイト（https://seikyusha.stores.jp/）もご利用できます。
■商品とは別に請求書と郵便振替用紙をお送りしますので、郵便局でお支払いください。
■送料は当社負担です。

注文書

青弓社　電話：03-3268-0381／FAX：0120-55-3746　MAIL：mail@seikyusha.co.jp

| 冊 | 「地方」と性的マイノリティ　東北6県のインタビューから<br>2200円（税込み、送料無料）<br>四六判　272ページ　並製　ISBN978-4-7872-3515-2 |
|---|---|

| ●お名前 | ●住所　〒 | ●電話番号 |
|---|---|---|
| | | |